

メニュー

[この塾について](#)[理事長の挨拶](#)[お問い合わせ](#)[全体プログラム](#)[平成25年度 講座](#)[ロボットクラブ](#)[発明クラブ](#)[ビデオクラブ](#)[SMAPイングリッシュクラブ](#)[ディベートクラブ](#)[マンガクラブ](#)[おもしろサイエンスクラブ](#)[過去の年度講座](#)[指導員・サポーターの募集](#)[未来塾新聞EURIKA](#)

サイト内検索

検索

[たかはま夢・未来塾](#) > [ディベートクラブ](#)

ディベートクラブ

全国中学生英語ディベートPre大会

日時:9月29日(日)10:00-17:00

場所:中京大学

たかはま夢・未来塾ディベートクラブから

杉浦 彩希 さん

伊藤 優花 さん

野々山 陽 くん

池本 光 さん

が選手として出場しました。



論題: All secondary schools in Japan should abolish school uniforms.
 (すべての日本の中学校・高等学校は、制服を廃止するべきである。是か非か。)



【結果】 (参加校6校中)

・第3位

・ベストディベーター 野々山 陽 くん

選手のみなさん、おめでとうございます。

表彰式の後、選手とジャッジ、スタッフ全員で記念写真を撮りました。



ディベート甲子園

第18回 全国中学・高校ディベート選手権(通称:ディベート甲子園)に
たかはま夢・未来塾ディベートクラブから、高浜中学校として出場しました。

日時:2013年8月10日(土)~12日(月)

場所:東洋大学(東京都文京区白山5-28-20)

☆中学の部 論題

「日本は飲食店にドギーバックの常備を義務付けるべきである、是か非か」

- ・ドギーバックとは、自分の食べ残した料理を持ち帰るための容器をいう。
- ・客が店または自分のドギーバックの利用を希望した場合、店は応じなければならない。
- ・客は自己の責任において持ち帰るものとし、持ち帰りによって生じた問題については店は責任を問われない。

☆東海地区代表校(代表選考会順位順)

- ・東海中学校
- ・名古屋市立浄心中学校
- ・高浜市高浜中学校
- ・金城学院中学校
- ・岐阜聖徳学園大学附属中学校



南中学校も応援&お手伝いに来てくれました。



(1)立論担当:伊藤優花さん



(2)質疑担当:鬼原聖弥くん



(3)第一反ぱく担当:杉浦彩希さん



(4)第二反ばく担当:野々山陽



長谷部先生と打ち合わせ

リーグ予選2試合を順調に勝ち進み、

決勝一回戦 高浜中学校VS関西創価中学校 勝利

準々決勝 高浜中学校VS金城学院中学校 勝利

準決勝 高浜中学校VS創価中学校 敗退

【結果】 第3位

出場2年目にして大健闘でした。

選手のみなさん、おめでとうございます。

今回の全国大会出場で感じたことを

選手を代表して野々山陽くんレポートしてもらいました。



《ディベート甲子園 感想文》

僕は第二反駁を担当しました。

全国3位をとった時の喜びは今も心に残っています。

しかし、準決勝の時「あと一人のジャッジを説得できれば・・・」と思うこともあります。

けれども、日本でもレベルの高い試合をできたことはいい経験になりました。

3月の論題発表から約5ヶ月。これまでチームで努力してきたことが結果として

表れたことは嬉しかったです。ディベートの魅力の一つだと思います。

来年もこの舞台に来れるように頑張りたいと思います。

そして、貴重な体験ができたのは皆様のご協力があったからです。

ありがとうございました。

ディベート甲子園 東海地区代表選考会 本選

第18回 全国中学・高校ディベート選手権(通称:ディベート甲子園)
東海地区代表選考会 本選大会が下記のとおり行われました。

日時:2013年7月27日(土) 9:30-17:00
場所:相山女学園大学・星ヶ丘キャンパス

予選を勝ち抜いた学校で、決勝戦と三位決定戦を行います。

3位決定戦

高浜中学校(予選暫定4位)VS金城学院中学校(予選暫定3位)



肯定・否定はじゃんけんで決めます

【結果】

- ・高浜中学校の勝利により、第3位
- ・ベストディベーター賞 反ばくの部 杉浦彩希さん



表彰式のあとは
全国大会出場校で記念写真を撮りました。



ディベート甲子園 東海地区代表選考会 予選大会

第18回 全国中学・高校ディベート選手権(通称:ディベート甲子園)
東海地区代表選考会の予選大会が下記のとおり開催されました。

日時:2013年7月21日(日)9:00-18:00
場所:相山女学園大学 星ヶ丘キャンパス

今年हतかはま夢・未来塾から

- ・高浜中学校
- ・南中学校

の2校が出場しました。



高浜中学校



南中学校



【結果】 (参加校11校中)

- ・高浜中学校 4位 (全国大会出場決定)
- ※東海地区からは上位の5校を出場認定とする
- ・南中学校 8位

高浜中学校チームは7/27(土)に行われる決勝に三位決定戦に挑みます。

南中学校はディベートを始めたばかりのメンバー2人のチームでしたが大健闘でした。

第5回 ディベートクラブ

日時:7月14日(日) 13:00-16:00
場所:たかはま夢・未来塾

今回の講座は、東海大会も近いということで、
高中チームと南中チームに分かれて練習試合をしました。
小学生の子は見学します。

そのあと、今期の講座のまとめとして今年のディベート甲子園論題の理解を
さらに深めるために長谷部先生の考え方を交えてみんなで意見を出しながら
考えました。

「ドギーバック制度に思う」 長谷部先生的思考

○予想させるメリット

- ・食品ロスの減少(客が食べ残しを持ち帰るから、お店としてのロス減少)
 - 1.食品ロスとは何か？
 - 2.食品ロスが減るのというが、どれくらい減るのか？
 - 3.食品ロスが減ることの価値は？
- ・食べたいものが持ち帰れる
 - 1.持ち帰ることがなぜそんなに重要な話題なのか？
- ・ドギーバッグの生産が上がる(各飲食店がドギーバッグを用意するから)
 - 1.プランによってどれくらい生産されるのか？
 - 2.生産されることで何がいいのか？
- ・もったいない意識が上がる
 - 1.なぜ意識が向上するのか？
 - 2.意識が変わって、どんな世の中になると考えられるか？

●予想されるデメリット

- ・食中毒の増加
 - 1.食中毒の発生プロセス (1)菌の付着+(2)温度+(3)時間
食中毒の予防「つけない、増やさない、やっつける」
- ・飲食店の過剰防衛(メニューが減る、食品添加物)
 - 1.どんなメニューがなくなるか
 - 2.店側はどんな食中毒対策をするようになるのか
- ・店側の負担が増える
 - 1.どんな負担が増えるのか
 - 2.そのことで店は困るのか
- ・家庭ごみの増加
 - 1.どの程度増えるのか
 - 2.そのことで何が問題か

※今回の論題は一見、ちいさな問題がテーマですが、その中には「環境」「食の安全」それに加えて現代社会のいろいろな問題が隠れていました。

選手たちはディベート甲子園に向けてこれからさらに練習を重ね、試合を重ねていくうちにより深い考えを突き詰めていくことと思います。

第4回 ディベートクラブ

日時:6月30日(日) 13:00-16:00

場所:たかはま夢・未来塾

今回の講座は、
長谷部先生が用意してくれた「ディベート入門講座テキスト」で
ディベートの試合の流れを詳しく勉強しました。



・質疑

基本は相手の立論の仕組みを確認する作業です。

- 1.根拠の確認
- 2.メリットの大きさ、発生量を聞く

・第一反ばく

反論と反ばくの違い

反論・・・言い返すだけ 反ばく・・・最終的には主張する

- 1.メリットの発生を切る
- 2.メリットの大きさを小さくする
- 3.むしろデメリットである(ターンアラウンド)

・第二反ばく

- 1.再反ばく
- 2.論点整理
- 3.価値比較・・・メリット、デメリットの大きさの比較(もっとも重要)

2チームに分かれてディベートをしてみよう。

小学生・中学生混合チームを作り、試合をしました。

論題「日本の小中学生は制服の着用するべきである。賛成か反対か」

それぞれのチームで、中学生が指揮をとり準備をしていました。

勝敗は決めずに、長谷部先生の講評を聞きました。



第3回 ディベートクラブ

日時:6月2日(土) 13:00-16:00

場所:いきいき広場

「第18回全国中学・高校ディベート選手権 東海地区代表選考会」にディベートクラブの中学生が高浜中学校と南中学校として参加することになりました。

今回の講座は・・・

- ・大会に参加する選手のメンバーは他校との合同練習に参加しました。
- ・選手でないメンバーはその様子を長谷部先生の講義を交えて見学しました。

合同練習会には以下の4校が参加しました。

- ・東海中学校
- ・南山中学女子部
- ・高浜中学校
- ・高浜南中学校

【試合】

- 高浜中学校 VS 南中学校
- 東海中学校 VS 高浜中学校
- 東海中学校 VS 南中学校
- 南山女子 VS 高浜中学校
- 南山女子 VS 東海中学校
- 南山女子 VS 南中学校

総当たり戦で計6試合をしました。

他校から来てくれたディベーターのみなさん、未来塾の選手のみなさん、たいへんお疲れ様でした。

今回初めて試合に出たメンバーはとても緊張したようですが、がんばって自分のパートを担当していました。

試合に出なかったメンバーもフローシートをがんばって取っていました。

見学だった小学生のメンバーの感想は、

「早口すぎて何を言っているのかわからない」と疲れた様子でした。

それぞれ良い経験、良い課題ができたと思います。

今回、ディベート大会に興味を持ってくれた中学生の見学もありました。ぜひ、大会に参加してみてください。

※試合の基本知識

- ・肯定側と否定側の双方の立場を準備する。
- ・じゃんけんで勝ったチームが肯定側とする。
- ・試合後に審判から講評を聞く。(次に繋げるための大切な講評です)
- ・判定を聞く。(審判・第三者を説得したチームを勝ちとする)

第2回 ディベート講座

日時:5月26日(土) 13:00-16:00

場所:たかはま夢・未来塾

●ディベートのテキストで学ぶ

- ・長谷部先生の作ったディベートテキストを使ってディベートを学びます。
ディベートの目的のひとつとして「コミュニケーション能力を高める」と言われています。

しかし難しいことは考えず、議論をしていくうちにいろいろなことがわかってくる面白さをまずは楽しむことから始めれば良いでしょう。(長谷部先生談)



●先回講座の続き...

- ・立論を知る。
(5/5練習会での他校の試合をモデルにして、立論の理解を深めます。)

- ・東海中学 VS 浄心中学
- ・灘中学 VS 聖マリア中学

- (1) 立論をよく読む。(相手の話をよく理解する作業)
- (2) 質問を考える。(相手の話が解らなければ質問が解らない)
- (3) 質問をする。(自分の言葉で)

なにより、実際に試合を体験してみよう。

...ということで、次回講座は、他校との合同練習の機会が持てました。ディベートの試合を実際に体験できるチャンスです。

※試合の形式と担当パートは？

参考:全国中学高校ディベート選手権大会に採用されているフォーマット(中学の部)

1	肯定側立論	4分
2	否定側質疑	3分
3	否定側立論	4分
4	肯定側質疑	3分
5	否定側第一反駁	3分
6	肯定側第一反駁	3分
7	否定側第二反駁	3分
8	肯定側第二反駁	3分

準備時間も含め、計34分です。

第1回 ディベート講座

日時:5月12日(土) 13:00-16:00

場所:たかはま夢・未来塾

●ウォーミングアップ

- ・5/5に行われたディベート練習会の試合録音を聞きました。
肯定側立論、否定側立論をそれぞれ聞きながら、聞き取れたことを書き取る練習をしました。

●長谷部先生のディベートのお話

- ・ディベートにかかわる話をいろんな国や時代のことを織り交ぜて、小学生のメンバーや中学生のディベート初心者にもわかりやすくおもしろくお話していただきました。

●今年の論題の説明解説

第18回ディベート甲子園

論題:「日本は飲食店にドギーバッグの常備を義務付けるべきである。是か非か」

- ・ドギーバッグについての説明や、現在の状況について。
みんなに意見を出してもらいながら、ドギーバッグについての理解を深めていきました。
- ・立論を知る。
(5/5の練習会での試合で選手が書いた肯定側・否定側それぞれのフローシートのコピーを全員に配布)

1. まず、肯定側・否定側それぞれどんな立論なのかを、先生が説明しながら読み解いていきます。
2. 次に、フローに書いてあることに対して質問してみたいことを、ひとりずつ出してもらい(質疑)、選手として試合に出たメンバーに、一問ずつ答えてもらいました(応答)。

この作業をしているうちに、だんだんとこの立論は何を言っているのかが分かってきます。

自分たちがどんな立論(ストーリー)で戦うのか・・・。

新メンバーはもちろん、選手として試合に出たメンバーはより深く、理解できたかと思います。



講座の様子



塾生Sさんが実際に書いたフローチャート

※「フローシート」とは？

「フローシート」とは、ディベートの試合中に、議論を書き取るための紙のことです。

「フロー」と略したりします。

慣れているディベーター同士だとたくさんの議論が飛び交うことになります。

そのため、相手がどんな議論をしていたのか、自分のチームメイトはどんなことを言ったのか、一つ一つメモを取って、混乱しないようにするのです。

ちなみに、フローシートに議論を書き取ることを、「フローを『とる』』と言うことが多いです。

紙は、B4(大学ノートの2倍の大きさ)やA3(さらに大きい)の大きな紙を使うことが多いです。

引用:フローシートの書き方の基本(曾根文聡)より

[ディベートクラブ 大会情報](#)

ディベートクラブは、5月5日に公開練習会がありました。

詳しくは、[こちら](#)。

[RSS FEED](#) [記事一覧](#) [サイトの最初のページへ](#) [ページの先頭へ](#)

Copyright(C) 2008 たかはま夢・未来塾 Allrights reserved.